

令和4年度 第2回久留倍官衙遺跡公園管理活用委員会 会議録概要

1 日時 令和5年3月9日（木）午後2時00分から午後2時50分

2 場所 大矢知地区市民センター

3 出席者（順不同・敬称略）

【委員】

小澤 毅委員長、丹羽喜美子副委員長、阪 早苗委員、渡邊重信委員、西 さが委員

【事務局】

四日市市シティプロモーション部文化課 中野千幸（課長）、葛山拓也（副参事兼課長補佐）
清水政宏（文化財グループリーダー）
石田智洋、大原涼子

4 傍聴者 なし

5 会議録（要旨）

1. 開会

あいさつ（略） 中野千幸 文化課長

2. 報告事項

事務局：（令和4年度事業について、事務局より説明）

委員長：ただ今の報告事項に関して、ご質問やご意見がありましたらいただきたい。

（特になし）

3. 協議事項

事務局：（1）令和5年度事業について、事務局より提案

委員長：ただ今の提案事項に関して、ご質問やご意見がありましたらいただきたい。

（特になし）

事務局：(2) 令和4年度の事業評価について、事務局より提案

委員長：ただ今の提案事項に関して、ご質問やご意見があったらいただきたい。

委員：市民参加型イベント（久留倍官衙遺跡まつり）は目標を具体的に数字で表して、目標に対して実績の参加人数が半分である。天候に左右されたためとはいえ、実績が半分なのに○にするというのはいかがなものか。これらの評価は○をつける事に意味があるのではなく、よりよく改善する為にどうあるべきか、何をすべきか考えるべきである。今後こうしたいという改善策を出してもらうことを是非お願いしたい。そういう事をクローズアップしていく為にも△が妥当と考える。

委員長：具体的に②活用の来館者数の△だが、数値目標をあげている以上、それを大きく下回っている。すぐに高評価というわけにはいかないが、ちゃんと理由があると明記したうえで、現状は△で良いのではないかというご意見である。雨天で悪条件が重なり、参加者数が少なかった。このことを明記したうえで△とするというご意見である。

委員：参加・来館者を増やすために具体策を明記し、改善を含めて今年度は評価を少し落とした方がよい。

事務局：今後、久留倍官衙遺跡まつりでのコンサートでは、天候を考え、予備日を設けるなど対応していきたい。

委員長：今回の久留倍官衙遺跡まつりは雨天で来園者数が減ったが、予備日を設けることで来園者数を増やしていくということである。予備日を設けた場合の出演者の対応・予算は大丈夫か。

事務局：今後コンサートへの出演者に交渉のうえ、柔軟に対応して頂けるようお願いする。

委員長：野外の為、天候に左右される事も大きいのでそのような形でお願いする。

数値目標を入れている以上、理由・改善策を明記したうえで、△としていく。

委員：次に、体験講座イベントについて、参加申込み者数と定員の数があまりに違う。定員だけしか受け付けられなかったということか？これに対する対策は？

事務局：令和4年度の実施時期はコロナの感染者数が非常に多かったので、定員の人数を少なくしていたのもある。感染防止対策をとりながらの開催という状況であった。ただし勾玉作りにおいては非常に人気があり、申込が多かったこともあり、令和5年度は定員を少し増やして開催する予定である。コロナ流行前と同程度の15名程度を予定している。

委員：最近、イベントへの参加希望が多くなっている。もっと抜本的な対策をしてほしい。

事務局：検討させて頂きたい。

委員長：会場のキャパシティがあるのが難しいが、せっかく申し込んだのに、定員いっぱいのため弾

かれるというのは申し込んだ方々にとって残念な事である。日数を増やすとか、20人くらいに定員を増やすとか、コロナ禍で致し方ない部分もあるが、収容人数とか実施日数などよりよい方向に考えてほしい。

委員長：そのほか、ご質問やご意見があったらいただきたい。

委員：諏訪公園交流館では子ども向けのイベントを毎月1回以上、少なくとも1か月に3回は継続的に開催している。継続的にイベントを開催するとか、四季を通じて何回か、定員10~12人でも開催するとかいう定期開催の方が参加しやすいし、募集もしやすいかと思う。久留倍では、例えば夏休みにはこども向けに回数を増やすなどのイベントを実施できないか。諏訪公園では音楽イベントみたいな形で、立派な演奏者の方をお呼びしているわけではなく、地元の方・近隣の方等、高くない費用、短時間で、大げさでないものを月1回とか2か月に1回とかで開催している。小さな建物で人数制限が今まであったが、合唱のような、みんなで声を出して歌うイベント等も参加型イベントとして高評価である。これから新たな形で進めていってほしい。

さらにもう一つ、歴史館来館者について、年間7,000人が今回4,592人と少なくなったのはコロナの状況の影響かと思うが、最初は新しいものに対して興味があるが、ある程度経過すると気持ちが他のものに移ってしまう。イベントで何かをするということも大切だが、植物に人が集まる。たとえば、桜が見たいから来るとかで自然に足を運んでくれるという所に久留倍がなってくれたら一般の方、近隣の方が足を運んでくれるのではないか。花を見に人が集まると周りにも経済効果があがる。久留倍の敷地に桜の木があって、満開になれば桜や花を楽しみに見に来て、遺跡を見ながら歴史館に立ち寄り親しむなど、遺跡のために来るのではなく、桜のために来る、そういうケースもあるのではないか。

委員長：事業評価というよりは来館者増のためのご提言を頂いたと理解したい。桜の苗木の植栽は、史跡公園の場合は遺構の保存が大前提であり、整備計画に基づいて整備してきているわけだから、そういったものとの整合性との確保が必要となるかと思う。

事務局：桜の件について、久留倍官衙遺跡公園は発掘調査後、盛り土をしている。史跡の整備が始まった頃から、桜を植えてはどうかとの声が多々あった。しかし、桜の根がかなり下までいってしまうということで遺構を壊してしまう可能性があるため、整備計画の中では桜よりも根の浅い他の木々、花々を植えている状況である。みなさんに来て頂いて、楽しんで頂けるような公園にということでボランティアさんも季節ごとにパンジー等を植えている。遺跡整備においては無関係な植物ではないかという意見もあるが、来園者に楽しんで頂けるような植栽に力を入れていきたい。

委員：遺構保存エリアだけしかないのか。その外側には桜を植える余裕がないのか？

事務局：公園すべてが史跡のため難しい。

委員長：確かに、桜は市民の憩いの場所となり、集客にも効果的とは思いますが、史跡公園の本来の趣旨を尊重する必要がある。桜は公園内では難しいが、それに代わる植物を活用して楽しんで頂く方を考えてもらいたい。

ホームページ・Twitter の更新目標数で「月に4回以上の更新」はホームページと Twitter 合わせての数か。

事務局：そのとおりだ。

委員長：少しわかりにくいので、「ホームページと Twitter の更新を合わせて1か月に4回以上行う」と表示をお願いしたい。

事務局：そのように修正する。

委員長：他の部分はいかがか。十分が○、やや不十分△ということで、事務局からの提案の来館者数と市民参加型イベントの実施については△ということで、事務局案を承認したい。

4. その他

委員長：事務局、委員の皆様より何かご提案があったらいただきたい。

(事務局より文化財保存活用地域計画(案)についての説明を行う。)

5. 閉会

委員長：進行を事務局にお返しする。

事務局：これで、令和4年度 第2回久留倍官衙遺跡公園管理活用委員会を終了する。